

排熱回収ヒートポンプ

低 GWP・不燃性冷媒 **R513A** 採用 **DHP24A-W/48A-W**

電気ヒーターやボイラーの 置き換えに！

使われていなかった排水の「熱」を有効利用し、
ランニングコストと CO₂ 排出の削減に貢献！

加熱能力

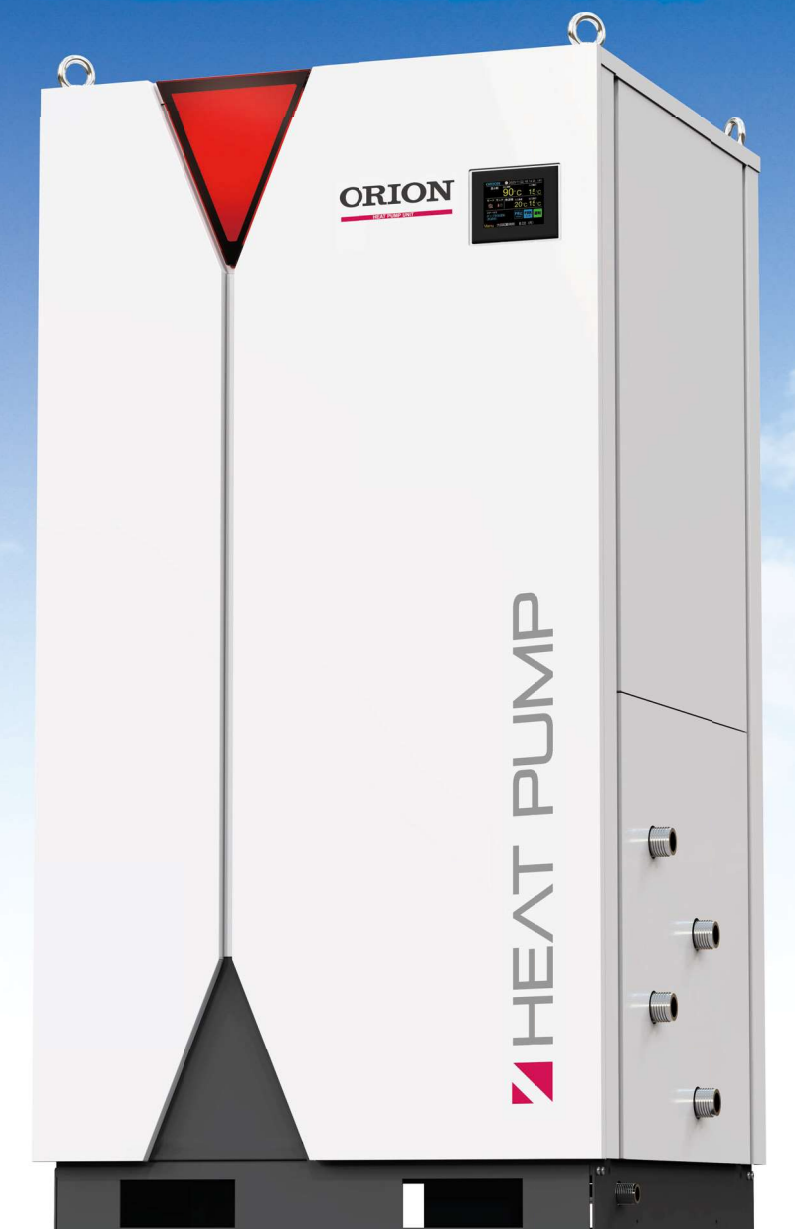
24kW

48kW

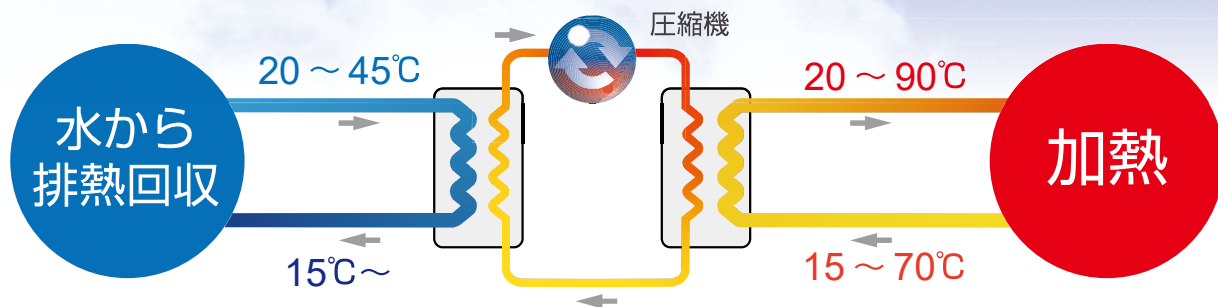
2機種ラインナップ

最高出湯温度

90℃



使われていない排水熱を ランニングコストとCO₂排出削減に貢献！



業界最高レベルの省エネ

凝縮器効率の最適化により加熱 COP3.10 以上達成！
排熱利用で CO₂ を削減し、カーボンニュートラルに貢献！

最高出湯温度 90℃の加熱性能

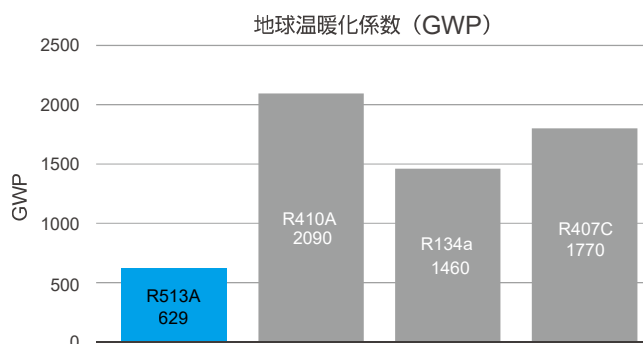
従来の熱源機器をヒートポンプに置き換え！

加熱能力 (24kW / 48kW)

2 機種をラインアップでユースポイントでの
分散設置可能

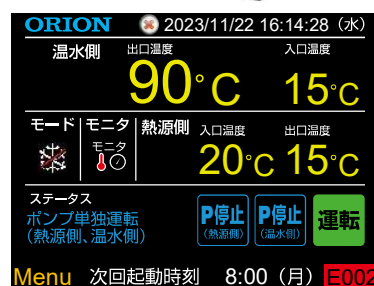
低GWP冷媒 R513A※採用

※地球温暖化係数 GWP=629



運転状態を監視

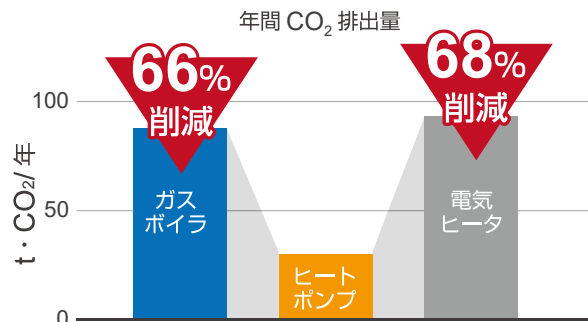
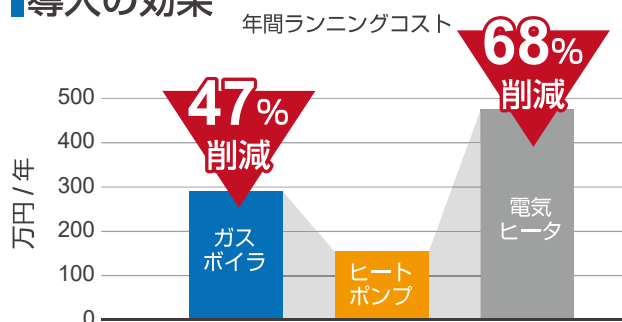
大型LEDで遠くからでも確認可能
(警報時は点灯します。)



Menu 次回起動時刻 8:00 (月) E002

タッチパネルでカンタン操作

導入の効果



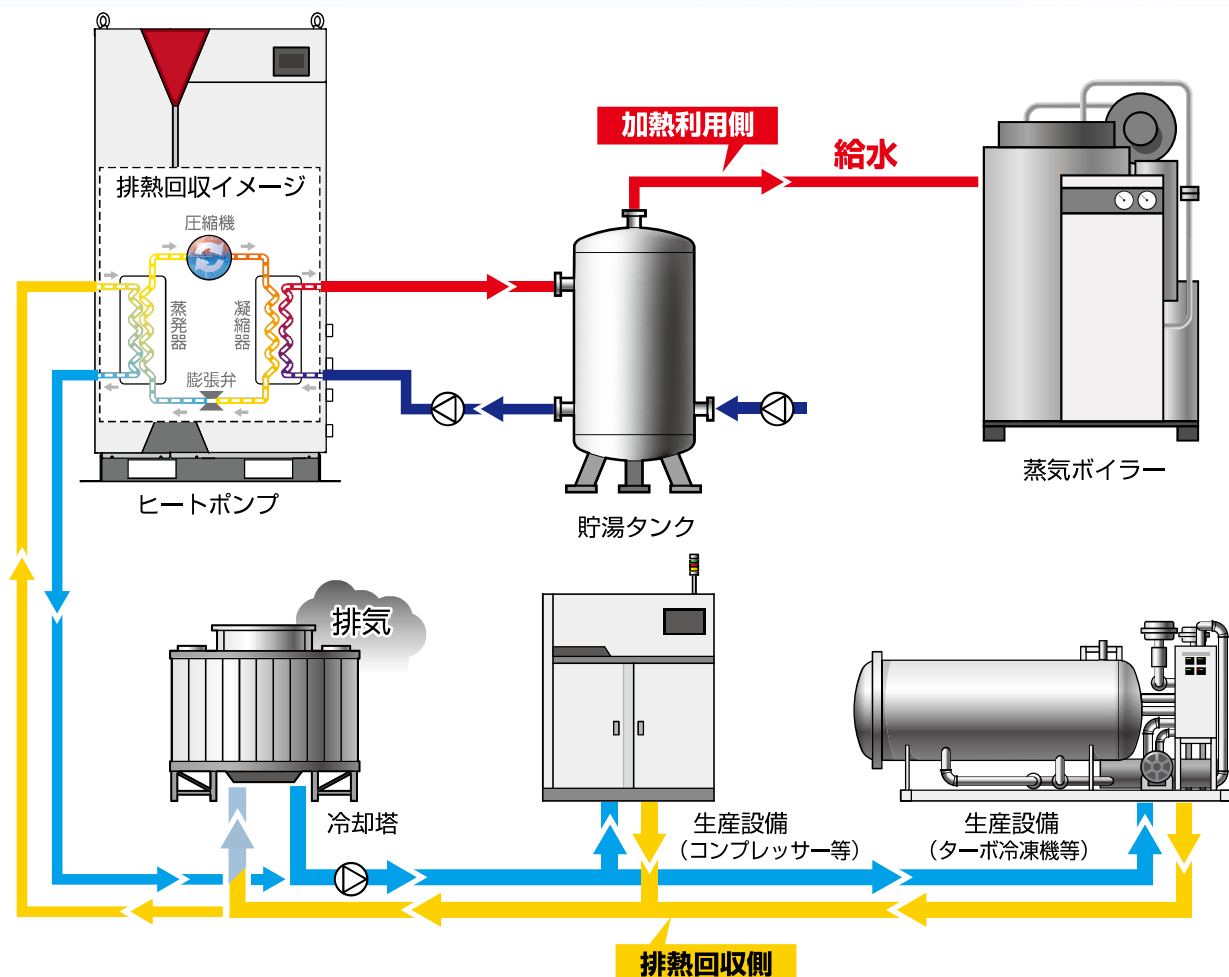
[試算条件] 温水入口温度 60℃、出口温度 65℃、年間を通じて 24.2kW の熱源をガスボイラもしくは電気ヒータからヒートポンプに置き換えた場合のランニングコストと CO₂ 削減効果を算出。

・電力単価: 23 円/kWh ・ヒートポンプ COP: 3.1 ・LPG 単価: 98.8 円/kg ・ボイラーシステム効率: 50% ・稼働時間: 24 時間 × 360 日
・CO₂ 排出係数 (電力): 0.45kg・CO₂/kWh ・CO₂ 排出係数 (LPG): 0.059kg・CO₂/MJ

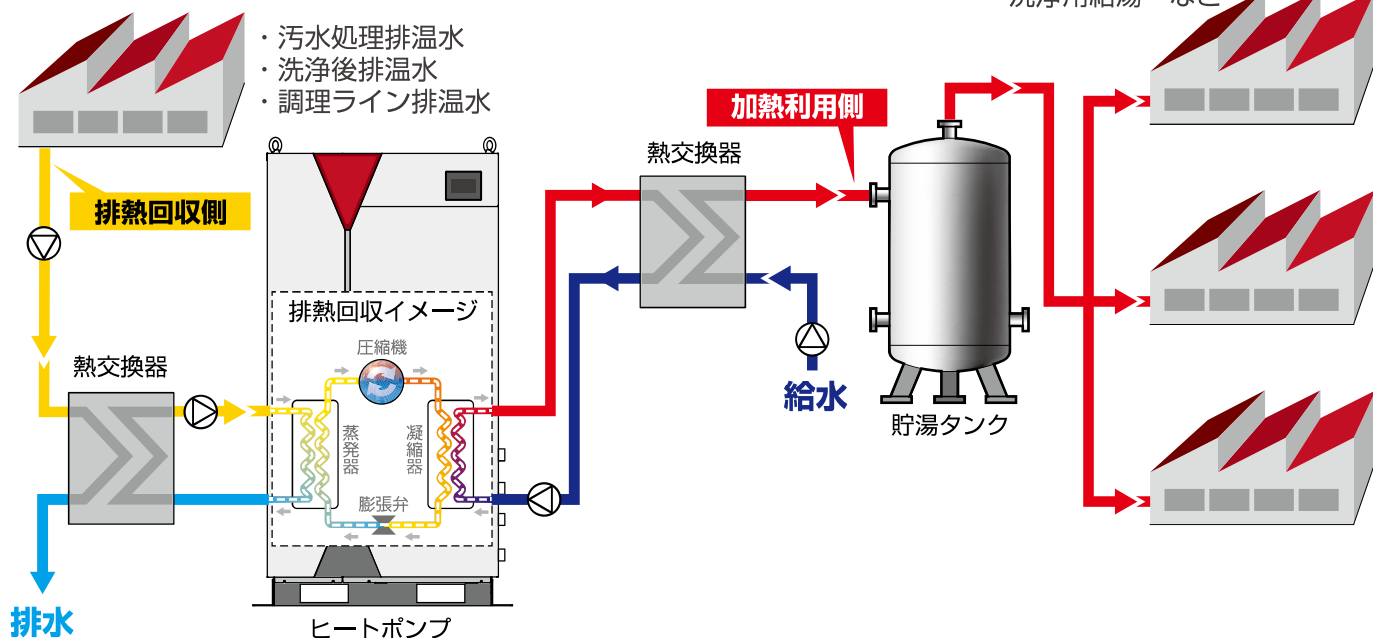
有効利用し、給水加温

■ 用途例

ボイラー給水加熱



各業種への給湯利用



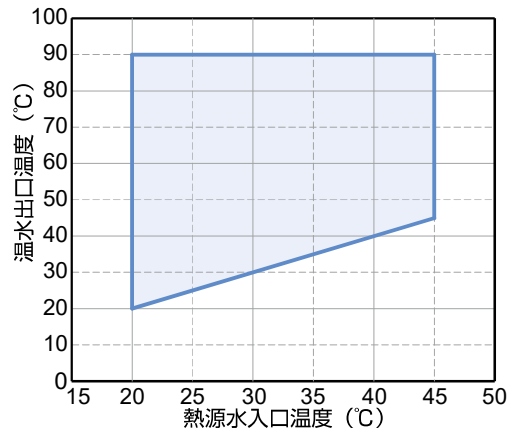
仕様表

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

型 式			DHP24A-W	DHP48A-W
性能	加熱能力 ※1	kW	24.2	48.7
	加熱COP ※1	—	3.1	
使用周囲温度範囲		℃	2～45	
温水	使用流量範囲	L/min	5～137	10～230
	入口温度範囲	℃	15～70	15～70
	出口温度範囲	℃	20～90	20～90
	使用最高圧力	MPa	0.5	
	出入口接続口径	—	Rc1	Rc1.1/4
熱源水	使用流量範囲	L/min	22～169	44～230
	入口温度範囲	℃	20～45℃	
	使用最高圧力	MPa	0.5	
	出入口接続口径	—	Rc1	Rc1.1/4
電気特性	電源	V(Hz)	三相200V±10% (50/60)	
	消費電力 ※1	kW	7.8	15.7
	電流 ※1	A	22.7	46.5
	電源容量	kVA	6.8	11.0
	しゃ断器容量	A	60	125
冷媒		—	R513A	
騒音値		dB	63	64
外径寸法(高さ×奥行×幅)		mm	1700×1015×870	
製品質量		kg	494	583

※1 温水入口温度 60℃、温水出口温度 65℃、温水流量 73L/min / 141L/min (DHP24A-W/DHP48A-W)、熱源水入口温度 20℃、熱源水出口温度 15℃

運転範囲

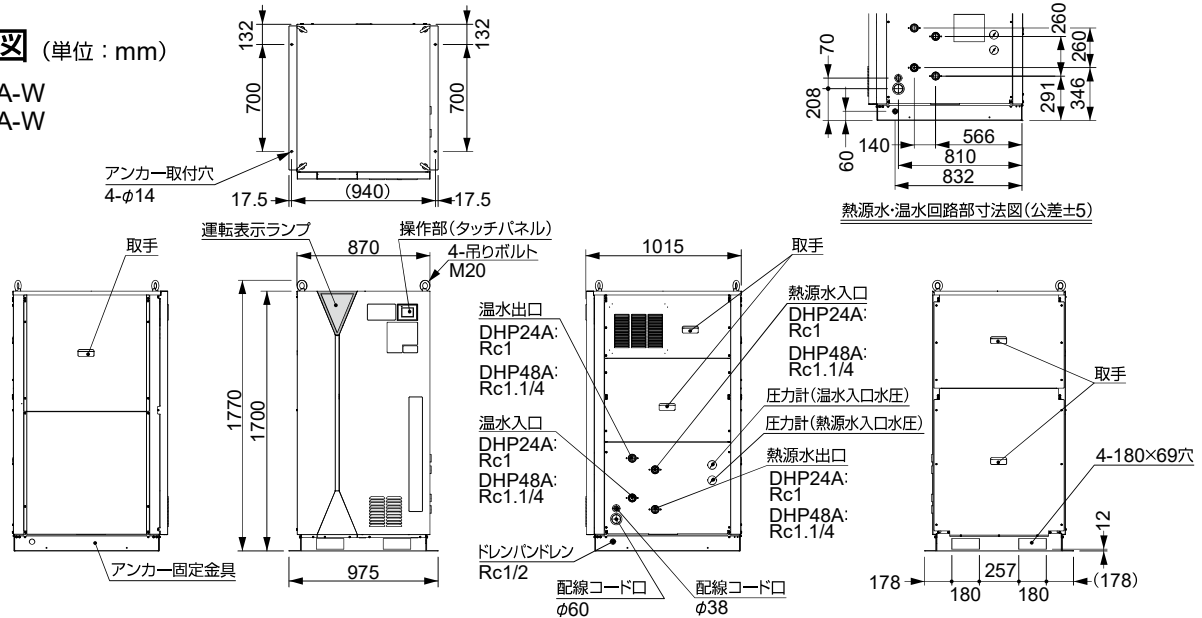


【運転条件】

温水: 清水 温水入口温度: 15 ~ 70℃ 湯水流量: 成り行き (5 ~ 137 L/min) / (10 ~ 230 L/min) (DHP24A-W/DHP48A-W) 温水出口温度差: 5℃以上 熱源水: 清水 熱源水流量: 成り行き 22 ~ 169 L/min / 44 ~ 230 L/min (DHP24A-W/DHP48A-W)

外形図 (単位: mm)

DHP24A-W
DHP48A-W



フロン排出抑制法について

- 改正フロン排出抑制法が2020年4月1日施行されました。冷媒にフロンガスを使用している当社製品は、フロン排出抑制法の「第一種特定製品」に指定されています。
- 管理者(ユーザー様)は製品のご使用時に以下の取り組みが義務付けられています。
 1. 点検: 機器の点検
冷凍用圧縮機出力が7.5kW未満は簡易点検が必要、7.5kW以上は十分な知識を有する者が定期点検を実施
 2. 記録: 点検などの記録を保存
機器点検の記録は、設置時から廃棄後も3年間保存
 3. 報告: フロン類算定と1,000t-CO₂/年以上漏えいの場合は国への報告

- 製品の廃棄時フロン類回収向上のために
 - ・フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
 - ・製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
 - ・冷媒が未回収の機器を引き渡してはいけません。
 - ・機器廃棄時の書類を廃棄後3年間保存(フロン回収依頼書、引取証明書)
- 違反した場合、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処せられます。ご不明な点は、当社までお問い合わせください。

●製品使用冷媒と GWP 値

冷媒名	地球温暖化係数 (GWP)
	(100年値)
R1234yf	1未満
R513A	629
R410A	2090

※各製品に使用されている冷媒種類については各ページの製品仕様表を参照ください。

ご用命は下記へ



オリオン機械株式会社

<https://www.orionkikai.co.jp>

当社製品に関するお問合せ・資料請求は

お客様相談センター

✉ sijo@orionkikai.co.jp



☎ 0120-958-076

受付時間 平日 9時~17時

FAX 026-246-6753

CSセンター: 札幌・仙台・太田・横浜・諏訪・名古屋・大阪・岡山・福岡

本社・工場 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246

更 埴 工場 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代1291

千 歳 工場 〒066-0077 北海道千歳市上長都1051-16

このカタログ内容は2024年7月現在のものです。

●製品写真は印刷物ですので、実際の色とは若干異なります。

●このカタログ内容の機構および仕様等は、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

[K] No.7339 240722 2② GF